

平成30年度予算見積調書

課室名：生産振興課

担当名：主穀担当

内線：4132

(単位：千円)

番号	事業名			会計	款	項	目	説明事業		
B69	県産米「特A」プロジェクト推進事業			一般会計	農林水産業費	農業費	園芸農産振興費	米麦産地育成対策費		
事業期間	平成27年度～平成32年度	根拠法令	なし				宣言項目	09	儲かる農業の推進	
							分野施策	040937	強みを生かした収益力ある農業の確立	
1 事業の概要 本県産米が米価下落や産地間競争に打ち勝てるよう、新品種「彩のきずな」が、客観的な食味評価である「特A」を継続して獲得するための取組みを行うとともに、本県の立地条件を最大限活かした販売力向上の手法確立と実践により、主食用米が「儲かる農業」となるよう支援する。 (1) 食味向上技術開発事業 4,136千円 (2) 食味向上技術導入支援事業 903千円 (3) 県産米ブランド定着支援事業 566千円 (4) 販売力向上対策事業 4,996千円				5 事業説明 (1) 事業内容 ア 食味向上技術開発事業 (4,136千円) 「特A米」が県内のどこでもどのような条件でも栽培できるよう体系的な技術開発を行い、面的な広がり支援する。 イ 食味向上技術導入支援事業 (903千円) 農家段階での適応性を調査・検討するとともに、栽培技術の普及を促進する。 ウ 県産米ブランド定着支援事業 (566千円) 「彩のきずな」統一米袋を使用できる生産・出荷の段階での食味・品質基準を設定する。 エ 販売力向上対策事業 (4,996千円) 「彩のきずな」の販売戦略に基づくプロモーション活動を行い、県産米の消費拡大を推進する。 (2) 事業計画 県産米で「特A」獲得ができる栽培技術の確立と県産米の販売力向上 (3) 事業効果 県産米が「特A」評価を継続して獲得するとともに、本県の立地条件を最大限に活かした販売力向上の手法確立と実践により主食用米の生産が「儲かる農業」となる。 (4) 県民・民間活力、職員のマンパワー、他団体との連携状況 JA等農業団体との連携						
2 事業主体及び負担区分 (1) (県 10/10) (2) (県 10/10) (3) (県 10/10) (4) (県 10/10)										
3 地方財政措置の状況 なし										
4 事業費に係る人件費、組織の新設、改廃及び増員 9,500千円×6人=57,000千円										
予算額		財 源 内 訳							一般財源	前年との対比
		国庫支出金	諸収入							
決定額	10,601		1					10,600	△2,812	
前年額	13,413	6,459	1					6,953		